

山仲間の皆さん、こんにちは。

今回は、昨年マッターホルン(4478m)の登頂に続いて、ヨーロッパアルプス最高峰であるモンブラン(4810m)への山行報告です。ヨーロッパの素敵な街並みと、雪で覆われた雄大で美しい彼の山の紹介と合わせて、ご覧ください。

【活動記録】7月19日(金)～7月28日(日)「モンブラン(フランス)」

強風が巻き上げる雪が頬に当たって痛い。アイゼンを効かせ、ひたすら登る。登れども登れども、どこまでも白い山だ。先頭を歩く国際山岳ガイド近藤謙司さんが「さあ、山頂に着いたよ」と振り向いた。白く広い山頂。ゴーゴーと音を立てて吹く風。冷たい頬。空は深く青く、雲は早く流れる。360度、雪を頂いた4000m級の山々を眼下に見る。ここが、長年憧れ続けたヨーロッパアルプスの最高峰モンブラン(4810m)のてっぺんなのだ。気温-20℃、風速30mの山頂。タイトロープで結ばれた3人は抱き合って喜びを共有した。

モンブラン(Mont Blanc)の別名「アルプスの女王」。氷河を抱く姿が雄大で美しい。フランスとイタリアの国境にそびえ、フランス語で「白い山」と言う意味だ。1786年にアルマとパッカールが初登頂して以来、近代登山(アルピニズム)発祥の山としても知られ、初登頂から現代に至るまで、世界中の登山者を魅了している。

モンブランには2020年に行く予定をしていたが、新型コロナの蔓延で中止となり、2023年再び計画したが、山小屋の予約が取れず断念。モンブランは山小屋の予約ができないと入山許可がおりない。コロナ明けで世界中から小屋の予約のアクセスが集中したらしい。しかたがないので、モンブランより難度が高い岩と雪の単独峰マッターホルン(4478m)を先に挑戦することにした。天気も良く苦しかったがなんとか登頂でき、ヨーロッパアルプスの経験を積んでのモンブラン山行となった。後輩の草野栄子さんを誘うと「行きます！」と即答。今度は2人で挑戦だ。心強い。



〈グーテルルート〉

今回のルートは、世界有数の山岳リゾート地シャモニーからバス、登山電車、ロープウェイを乗り継いでニーデーグルの登山口から入る「グーテルルート」。ニーデーグルからテートルース小屋（3165m）までは、アルプスの少女ハイジが出てきそうなハイキングルートを、高山植物を愛でながら歩く。途中、野生の山羊「大角の旦那（アルプスアイベックス）」にも会えた。高所順応も兼ねて、ここで1泊。

翌日は夜明け前に出発して、グーテ小屋（3815m）を經由して、一気にモンブラン山頂（4810m）を登頂し、グーテ小屋まで下山してゆっくり1泊。翌日、また夜明け前に出て、テートルース小屋で朝食を食べ、同じ道をニーデーグルまで一気に下山。その後シャモニーまで戻るという段取りだ。

〈テートルース小屋からモンブラン山頂まで〉

夜明け前の午前4時、テートルース小屋を出発。気温が低く雪が締まっている間に大クローワールのトラバースを通過。ここは落石や雪崩の多発地帯で、前日も3人が滑落している。ここを抜けるとグーテ小屋までは岩稜地帯。ワイヤーが張ってある岩登りの箇所も多く、ごつい雪山靴では登りにくかった。グーテ小屋で宿泊の荷物はデポ。そこから先は体力勝負の長い長い雪稜だ。

4000mを超えると酸素は地上の1/2。高度障害は出なかったが、スピードはがた落ちだ。ガイドの近藤さんから、高所の雪稜の合理的な歩行技術（フレンチステップ）を教わり、苦しいアイゼンの足をとにかく1歩ずつ進めた。ガイド1人と登山者2人のパーティーでは、1人でも登れなくなったら、2人とも下山となる。なんとしても草野さんに登頂してもらいたい。私は頑張るしかない。ヴァロ避難小屋を過ぎると急に強風の地吹雪。ボス山稜を辿りナイフリッジを過ぎるとやっと開けたモンブラン山頂に着いた。本当にきつかった。



後で聞いたら登頂率は50%程度ということだった。記念写真を撮って、日本の8/11「山の日」のアンバサダーの近藤さんに協力。その後、安全なうちにさっさと下山してグーテ小屋でぐっすり眠り、翌日にはシャモニーまでもどった。

〈モンブランケーキ〉

今回のミッションは、「モンブランに登頂し、無事に下山したら本場のモンブランケーキを食べる」ということ。同地は栗の産地で、栗のクリームの入ったケーキの上には雪を表した白い粉砂糖がふっつてある。シャモニーのホテルのテラスでモンブランを見ながら2人で食べた。何年経とうとも、しんどかったことはすっかり忘れて、モンブランケーキを食べるたびに、きっと山頂の景色とこのときの気持ちを思い出すことだろう。(記：坂東)



「チャンスとタイミングは大切に！」

ちょうど去年の今頃に坂東さんのマッターホルン報告会があり、その帰りに決まった私の初めてのヨーロッパ！モンブラン登山！結果から言うと、無理して行って本当に良かったです！！声かけてくれた坂東さんに感謝してます！

小屋の予約の関係で半年以上前の11月に申し込みをし、山行履歴書を提出。ツアー会社から宿題が出されるわけでもなく、普段通りにクライミングや登山をして過ごしました。持ち物も追加で買ったものはハイドレーションくらいで、あとは持っている装備で間に合いました。出発の10日前くらいに正式な書類が届き、いきなりバタバタしたものの、大先輩の坂東さんがいてくれたので心強かったです。



長時間のフライト、座ってるだけなのでお腹が空かないのに、うとうとしだすと機内食。初トランジット、初の時差。疲れました。でもジュネーブ空港に着いて、シャモニーに移動！なんて素敵なん？夢の国かな？！疲れも吹っ飛ばす！！によりホテルのバルコニーから見える景色が絶景！！

翌日はあいにくのお天気で氷河での予行練習はできなかったけど、エギュード・ミディ (3842m) をぐるぐる。高度順応できたのかできてなかったのか？！ヨーロッパの山岳リゾートって本当に優れてて、富士山より高い高度までピューーンと行けちゃいます！！



そしてシャモニー3日目！モンブランアタックに向けて出発です！バス、ロープウェイ、電車を乗り継ぎ、テートルース小屋（3167m）までゆっくり行くだけなのでお気楽♪みんなでお喋りしながら、写真撮りながら、高所順応のためにも時間をかけて登ります。綺麗な小屋で美味しい晩御飯を食べてまったりしていたら、急に小屋の雰囲気が一変しました…

明日私たちが通る1番の難所「クーロワール」での事故が起きました。

ピリピリと緊張感が漂う食堂にいるのがしんどくて、4人で邪魔にならないようにと外に出ました。幸いヘリがすぐ来てくれて「ブラボー！」と拍手喝采が聞こえたので無事に救助されたんやなあと一安心しました。（後で聞いた話だと命に別状はなかったとか）



アタック当日の朝、とにかく早く確実にクーロワールを抜けなくては行けない！休憩予定のグーテ小屋までは写真やお喋りする余裕もなく。ロープを繋いでの歩行も慣れてなくて難しかったし、案外クライミング要素も多かったです。（クライミング、やってて良かったー！）グーテ小屋で小休憩をとり、いよいよ山頂へ！雪庇、クラック、ルーファイ…ガイドさんなしではほんま無理…そして風もなく穏やかやったのに急に暴風…ハイドレーションも凍って吸えなくなる。体が重くてペースが上げれない…でもここまで来たからには意地でも山頂踏みたい！近藤ガイドに撤退！と言われなにかビビリながらもなんとか進みます。山頂直前のリッジで先行の日本人パーティーとすれ違いました。

「あとちょっとですよ！ガンバ！」とエール交換。この時嬉しくてちょっと泣きました。山頂は何もなくてただただ真っ白で、見渡す限り壮大な美しい山々が見え、風がゴーゴー鳴っていました。

家族や友達、先輩方、職場にもたくさん心配と迷惑をかけたし、過去最高にお金も使いました。海外に興味がなかった私ですが、本当に来て良かった！！山も街もとても綺麗やった！！

毎日めーっちゃ楽しかった！！！！
一生忘れられない経験をありがとうございました！！
（記：草野）



【活動計画】

日時	企画	山域・ルート	内容・おすすめポイント
10/5	例会	裏六甲	赤子谷
10/6	例会	クリーンハイキング	六甲山をお掃除します
10/10	平日例会	六甲山	長峰山から山寺尾根
10/12-13	例会	明神岳	テント泊山行
10/14	例会	六甲山	杉谷道～地蔵谷
10/17～20	遠征例会	石槌山	瓶ヶ森への縦走
10/19～20	講習会	蓬莱峡	岩登り+ツェルト泊
10/20	公開ハイキング	女人高野道	世界遺産の巡礼路
10/23	例会	小金ヶ岳	黒豆狩りを楽しむ
10/26	シリーズ企画	京都トレイル③	蹴上駅～大文字山～水路閣
10/27	体験ハイキング	六甲山	芦屋ロックガーデン
10/27～28	例会	蒜山三山	蒜山山荘泊
11/1～5	遠征例会	大崩山・祖母山	九州最後の秘境
11/1～5	遠征例会	韓国岳・開聞岳	南九州の百名山2座
11/9	体験ハイク	六甲山	修法ヶ原
11/10	ブナ観察ハイク	六甲山	阪急六甲～油こぶし
11/10	公開ハイキング	小野アルプス	市場駅～女池～小野町駅
11/23	例会	六甲山縦走	全山・西半縦を歩く

【新規入会、絶賛募集中!!】

個人山行やガイドツアーでは体験できない山行に行きませんか？

セミナーや例会で、更に色々な体験が出来ます。また、多くの仲間に出会うことで、日常生活では体験できない感動を味わえます。

当会では、山仲間を絶賛募集中です!!体験ハイキングや公開ハイキングで、会の雰囲気をご覧いただけます。入会をご検討中の方は、お気軽にご参加ください。

【Web】 <https://n1shinomiya-sangakukai.com>

【住所】 〒662-0971 兵庫県西宮市和上町1-12

【問合せ先】 泉 竹明 080-2589-2670 E-Mail:bamboo_izumi@yahoo.co.jp